

The Open Group CHICAGO Conference ハイライト 第二日目

* 開催日時: 2008年7月21日(月)～7月23日(水)

* 開催場所: InterContinental Chicago

* OPEN GROUP Conference in CHICAGO

<http://www.opengroup.org/events/q308/>

<第二日目>

Allen Brown 氏、President & CEO、The Open Group がキックオフのメッセージをした。氏は、The Open Group は過去 5 年間に素晴らし飛躍をし、この間メンバーシップは7割増え、直近の四半期では 21 の新規メンバが参画し、中国から初のゴールド・メンバとして Kingdee が参画した。

Allen 氏は、この大きな成長はカスタマの真のニーズに立脚する The Open Group の Boundaryless Information Flow に帰るところが大きいという。氏はさらに、エンタープライズ・アーキテクトは組織のビジョンを達成するための要であり、今日のアーキテクトは大きな機会をもっているばかりでなく、責任もある; 専門が磨かれるにつれて機会が増え、責任は適切なプリンシプルやプラクティスが構築され、それらが後任に引き継がれることが確認された時に果たされると、述べた。さらに Allen 氏は、アーキテクトの知識や能力、専門性についての進捗についてのハイライトを話した。

TOGAF 8 の認証者が 7,500 名超となった。ITAC の認証者が 2,600 名超となった。半年前に創設した AOGEA (The Association of Open Group Enterprise Architects) のメンバが 7,500 名を超えたまた、エンタープライズ・アーキテクチャの状況は一般的に良く、The Open Group 内の状況は非常に良い。しかし、長い道のりであり、今はまだ座っている状況ではないという。

次に、David Cotterill 氏、Head of Innovation、UK Government Department for Work and Pension が“Enterprise Architecture and the Revolution—Putting Customers at the Heart Of UK Government Services”というテーマで基調講演を行った。氏は、歴史的に行政サービスはサービスを利用するカスタマでなく、プロダクト回りを中心に構築されてきたが、今日ではこれらのサービスを心からカスタマに利用してもらうことが現実となっている。

氏は、英国の労働年金省がエンタープライズ・アーキテクチャを策定し、TOGAF を使って行政サービスの中心をカスタマ(市民)にしていることを強調した。アーキテクチャの仕事を通じて、氏

の組織では今や、カスタマに対してより効果的、効率的、迅速にサービスを提供できるようになった。氏はまた、成功要因としていたるところでバランス・スコア・カードや TOGAF のマッピングを使用したことを挙げた。

次に、John F. McLaughlin 氏、Executive IT Architect、Office of the Federal CTO、IBM Corporation が”How to Understand SOA Security”というテーマで講演した。氏は講演で、セキュリティを SOA ライフサイクルの中に如何にして要素として取り入れて行くか、“セキュリティはビジネス・リクワイヤメントであり、単なるテクノロジーではない”と、強調した。氏は、SOA セキュリティ・モデルにスポットライトを当て、セキュアな SOA の重要な手段としてセキュリティ・リファレンス・アーキテクチャの使用を主張した。

ビジネスと IT の結合というテーマで、George S. Paras 氏、Managing Director、EAdirections が講演した。氏は、エンタープライズ・アーキテクチャにおける顕著な進化を我々は見てきたが、すべてのアーキテクトはビジネスと IT の整合性を適切なレベルに保つために、ビジネスおよび IT のプロフェッショナル両方のビューをもつ必要性を真に感じていると思う。さらに、アーキテクトは、真のビジネス変革のために企業の構成要素と共に、信頼されるビジネスと IT の整合性を用意する必要がある。この戦略は、いくつかの要素と場を包含しなければならない、サービス・オリエンテッドな分析やサービス設計、サービス管理を含めて全てがエンタープライズの視点から。最後に、企業はエンタープライズ・アーキテクチャを始める前に、それを成功させるために基本的な能力に関するリクワイヤメントを評価検討する必要がある。

午前中のセッションを総括すべく、パネルディスカッションが開催された。

モデレータは、Dana Gartner 氏、Principal Analyst、Interarbor Solutions、パネリストは、Eric Knorr 氏、Editor in Chief、InfoWorld: Tony Baer 氏、Senior Analyst、Ovum:

Joe McKendrick 氏、SOA Author、Blogger and Consultant: David Cotterill 氏、Head of Innovation UK Government Department for Work and Pensions: Andras Szakal 氏、Chief Architect、IBM Federal Software Group の五氏が参加した。

パネルで提起されたホットな課題は、官民の組織内の現在のSOAスキルや能力状況やTOGAFのようなエンタープライズ・フレームワークの役割、ITACのようなプロフェッショナル認証標準の適用であった。パネルの状況は、BriefingsDirect podcastに生録画されており、コンファレンス後に、www.opengroup.orgおよび ZDNet.comからオンラインで可能である。

午後の SOA and the Boundaryless Enterprise トラックは、Michael Rolling 氏、Senior Analyst、Executive Advisory Program、Burton Group、US が”Architecting for SaaS”というテーマでの講演でキックオフした。この講演は、ますます人気上昇中の IT アプリケーションの提供方法で

ある”Software- as-Service (SaaS)”をテーマしたものであった。SaaS は、コア・ビジネスに集中できるように IT アプリケーションをきめ細かく用意して使用できるようにしてある。氏は、SaaS は今の課題の解決策ではあるが、SaaS に盲目的な組織は、しばしばアーキテクチャに対する挑戦やインテグレーションの課題、その他のリスクを忘れてしまいがちである。氏は、SaaS のビジネスに対する適合性を話した後、考慮すべきアーキテクチャ・プリンシプルのいくつかについて話した。

SOA and the Boundaryless Enterprise のトラックの後半では、Ross Button 氏、Vice President、Technology Leadership、CGI は、”How the Internet influences Enterprise IT and How Web 2.0 influences EA”というテーマで講演した。この講演では、エンタープライズ・アーキテクチャと SOA と Web 2.0 の関係が話された。氏は、エンタープライズ IT に対するインターネットの影響の現実とエンタープライズ・アーキテクチャのイニシアティブがエンタープライズの内外における Web 2.0 のアプローチやモデル、テクノロジーをアドレスしなければならないと、説明した。参加者は、CGI における”Enterprise 2.0”のアプリケーションのいくつかの例を学び、それらが社会ネットワークやユーザが制作したコンテンツ、mashups、SaaS、リッチなインターネット・アプリケーション (RIAs)、SOA へと拡大している。

Architecture Profession のトラックでは、Saverio Rinnaldi 氏、Chief Architect、EDS GMAC が”Training, Coaching and Mentoring Architects”というテーマで講演した、この講演では、大企業におけるアーキテクトの正式な育成プログラムを如何にして策定し、実行するか、即ち、アーキテクトの訓練やコーチ、指導し、質の高いアーキテクトを育てていくかである。氏は、すべてのレベルのアーキテクトの正式な訓練プログラムや明確なキャリア・パスとその実施をすることが大切であると、強調した。氏はまた、実際利用している The Open Group の IT Architect Certification Program (ITAC) の役割とアーキテクトのキャリアを進めていること、採用している人間がアーキテクトが仕事の適切なスキルと経験があるかを確認していることが大事であると、話した。

Architecture トラックの第2日目の最後は、Ron Tolido 氏、CTO Continental Europe & Asia Pacific、Capgemini が”Open BA-Exploring Opportunities for an Open Business Analysis Methodology”というテーマで講演した。氏は、最近発表した ITSC (IT Specialist Certification) プログラムの中で The Open Group が標準として定義した Business Analysis の努力を説明した。氏は、標準 Business Architecture (BA) の開発は進行中で、このイニシアティブは、ビジネス上のテクノロジー・ソリューションをますます強調している、という。即ち、これは IT のオペレーショナルな効率化だけでなく、BPM (Business Process Management) のような成長分野である BA の論理的な共通集合体であり、持続的な改善である。最後に氏は、BA 成功の可能なロードマップを提示した。

以上